



新転任者のみなさん

ようこそ
気仙沼向洋高校へ

今年度着任された先生方、ようこそ気仙沼向洋高校へ。

私たち生徒一同は、先生方がいらっしゃるのを心待ちにしていました。

世界的大流行を引き起こしている新型コロナウイルスの感染を防ぐために、現在重要な時期にあります。今まで通りに学校生活を送ることが困難となっていますが、これまで以上に新しく来られた先生方と授業や実習に励みたいと思います。そして、地域に愛され、多くのことが誇れる学校にしていきたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

生徒会長 情報海洋科3年 奥玉新之助（条南中）

名前	前任校	教科
教頭 佐々木 安弘先生	宮城県鹿島台商業高校	商業
教諭 増田 雄次郎先生	宮城県水産高校	水産
教諭 油谷 弘毅先生	宮城県水産高校	水産
教諭 中野渡 純也先生	宮城県立古川支援学校	工業
教諭 穴戸 陽香先生	千葉県立柏南高校	英語
教諭 千葉 久斗先生	新規採用	水産
教諭 大岡 晋先生	新規採用	水産
実習助手 小林 渉先生	新規採用	工業

名前	前任校・教科
事務室長 伊藤 一洋さん	気仙沼教育事務所
主事 小野寺 将史さん	栗原市鶯沢小学校
代替養護教諭 豊島 ひかり先生	
講師 鎌田 浩先生	商業
臨時職員 阿部 哲さん	
パート職員 齋藤 宏大さん	
ALT Thomas Barnes	

Welcome to
KESENNUMA
KOYO



打倒！ 新型コロナウイルス！



マスクを手作りする教職員（学校提供）

新型コロナウイルス 発生したのは、家庭感染拡大に伴う休校が長期化する中、気仙沼向洋高校（荒木順校長）の教職員が、全校生徒に配布するマスクの手作りしている。

「安心して登校を」

気仙沼向洋高 教職員がマスク手作り

新型コロナウイルスの発生したのは、家庭感染拡大に伴う休校が長期化する中、気仙沼向洋高校（荒木順校長）の教職員が、全校生徒に配布するマスクの手作りしている。

阿部教諭らは「全員が用意できたのは、先生方の協力と呉服店からのシャツ提供のおかげ。学校が再開しても、しばらくはマスクが手放せない」と話した。



KYの刺繍入りマスク

数量限定！



向洋の制服を扱う島田呉服店から、昨年度まで使用していた旧制服のシャツを寄贈していただきました。



島田呉服店のみなさん ありがとうございます！



独自にフェースシールドを製作している向洋高機械技術科の教員

地元医療機関などに提供

フェースシールドは、透明なプラスチック板で顔全体を覆う。会話、せき、くしゃみなどによる飛沫感染のリスクが軽減できるほか、目からのウイルス侵入もブロックできる。新型コロナウイルス感染拡大によって、国内外の医療現場などで需要が増え、品不足で入手困難になっている。機械技術科実習助手の小野寺英幸さんが、校内にある実習設備で独自にフェースシールドを製作している。

フェースシールドが作れるのではないかと、思い立ち、試作に取り掛かった。

気仙沼向洋高校（荒木順校長）の機械技術科の教員が、新型コロナウイルスの飛沫（ひまつ）感染リスクが軽減できるフェースシールドを独自開発した。校内の実習用設備を使って製作するため、量産はできないが、地元の医療現場などで必要があれば少しずつ供給していきたいと考えた。

フェースシールド

向洋高教員が独自開発

実習用設備使って製作

（覆い）の部分は、加熱処理して透明にしたラミネートフィルムを使用。事務用クリップでフレームにとめるだけなので、容易に交換できる。クリアファイルなどでも代用可能だ。

新型コロナウイルスの飛沫感染リスクが軽減できるフェースシールドを、機械技術科の先生方が独自に開発をしました。

校内にある実習機器を使用し、また身近にあるもので代用可能なものを工夫しました。

見本品がないために全てが手探りで作成でしたが、使用する人のことも考え、シールド内がくもらないように通気口なども設けました。



誰かのために今できることを！